

とまりぎ



5

まずは調べてみる

こどもの居場所を応援する前に
まずはもっと調べてみたい方へ
とまりぎのウェブページ (右記参照)

- こどもの居場所の一覧
- 居場所マップ (令和7年度末公開予定)
- こどもを取り巻く現在の社会の状況
- 古河市のこどもの状況
- こどもの居場所の価値
- こどもの居場所とSDGsとの関係性
- こどもの居場所実態調査報告書 (令和7年度末公開予定)
- こどもの居場所に関する報道記事
- 参考文献

詳しく知るための情報の他、気になる居場所の活動を見学したり、実際に参加することもできます。例えば、ほとんどのこども食堂は誰でも参加できます。実際にこどもたちと一緒にごはんを食べることで、居場所の状況や価値を確認できます。

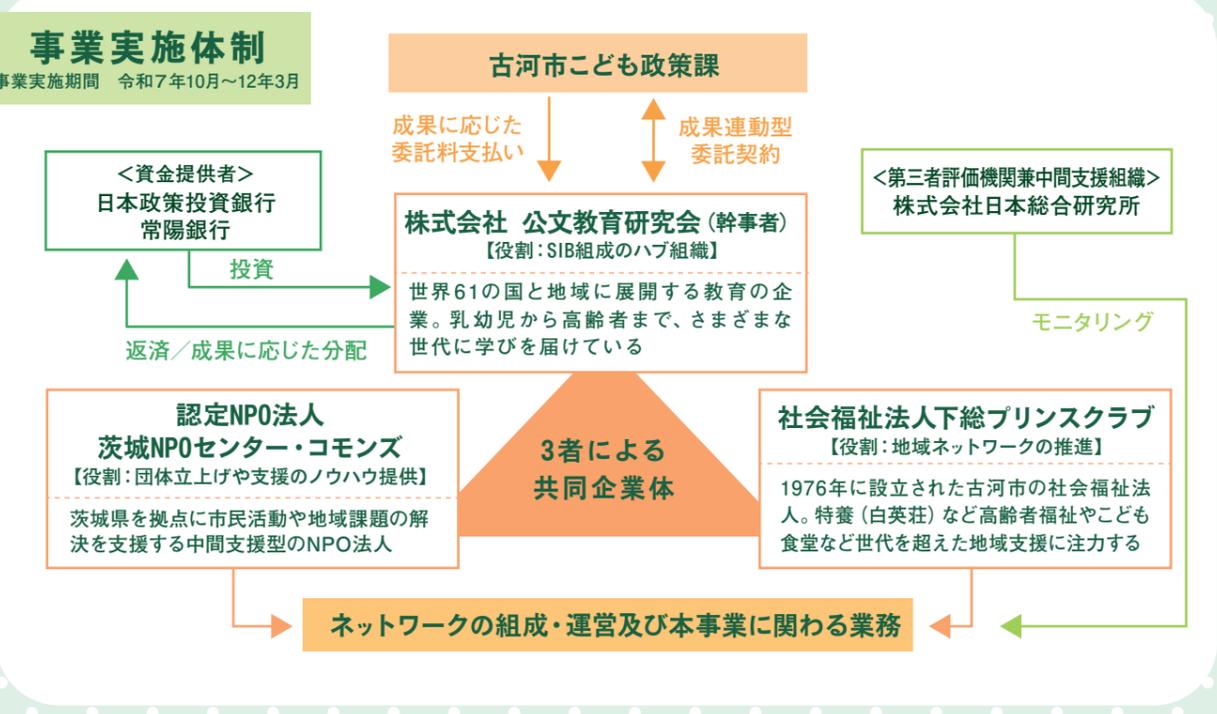
6

応援会員として入会する

とまりぎはこどもの居場所を支える
「応援会員」を随時募集しています

応援会員には、とまりぎが取材したこどもの居場所の記事の他、「こどもの居場所サポーター説明会」などの行事のご案内など様々な情報提供を、主にeメールでさせていただきます。会費は無料、退会もいつでも可能です。

まずは応援会員としてとまりぎにご入会いただき、こどもの居場所を支えてください。
詳細は下記のウェブページをご覧ください。



お問い合わせ 古河市こどもの居場所ネットワーク・とまりぎ
 (共同事務局: 認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ)担当: 尾崎、大野
 〒306-0231 茨城県古河市小堤1796-2 社会福祉法人下総プリンスクラブ白英荘内
 電話: 0280-23-6182 FAX: 0280-23-6183
 eメール: info@koga-tomarigi.org ウェブサイト: http://koga-tomarigi.org/

とまりぎHP

古河市子ども計画
KODOMO GRAND DESIGN
 2025-2029

古河市こどもの居場所ネットワーク・とまりぎとは
 古河市のこどもが複数の居場所を持ち、市内に多数の居場所がある状況を生み出し、地域におけるこどもの健全な育成及び福祉の向上に寄与することを目的とした、古河市内のこどもの居場所のネットワークです。「古河市こどもの居場所支援事業」をもとに令和7年10月に設立されました。

知ってほしい！こどもを取り巻く現状と課題

※古河市こども計画 KODOMO GRAND DESIGN 2025-2029参照

放課後に友達と過ごす場所がない

こども食堂はあるが家の近くにはない

友達や家族以外の大人や先輩と交流する場がない

親・友達ではない人に悩みを話したいが機会がない

自分に自信が持てず自己肯定感・自己有用感が低い

多くの古河市のこどもにとってほっとできる居場所は現在自宅のみであり、自宅が居場所でなくなってしまうと、たちまち孤独・孤立状態に陥ってしまいます。一方で、こどもが居場所を複数持つことで、こどもの状態が好転することが期待されます。

安心して過ごせる「こどもの居場所」とは？

※古河市こども計画 KODOMO GRAND DESIGN 2025-2029参照

居場所とは…行政を除く地域の運営者（民間企業、NPO法人、任意団体、個人等）が、こどもが誰でも来られる場所を用意し、様々な活動を行うもの（※特に何もせず、ただゆっくりすることを含む）。

多様な種類の居場所のイメージ

例：こども食堂、無料塾、学校に行かない選択をしたこどもの居場所、フリースクール、プレーパーク等



例：ゲームあそび
毎週決まった曜日・決まった時間に、公民館の一室にて開催。



例：宿題フリースペース
店舗等の空きスペース・空き時間を利用して、宿題や自習ができるスペースを提供。



例：ボランティアによる教室
町内集会所で老人クラブのお年寄りが講師となり、得意な分野を教える。

聞かせて！居場所からの声

（令和7年度「古河市内のこどもの居場所への実態調査」から表現を一部修正して掲載）

顔見知りではないこども同士が、遊びによって心がほぐれ、何もなくても遊びを繰り返している。決められたプログラムがないからこその姿だと思う。



（運営者）

こどもたちの居場所のために運営しているが、ボランティアで来ている中学生や高校生だけでなく参加しているこどもの親たちの居場所にもなっている



（運営者）

こどもたちが毎回行う体験活動、食事を楽しみにしている。SNSを見て地域の方がボランティアに参加してくれるようになった。地域の方が寄付してくれた。



（運営者）

居場所と地域の関わりは？

こどもの居場所は、こどもやその保護者だけでなく、高齢者がやりがいを持って参加していたり、利用者だったこどもが高校生になって手伝うなど、地域の多世代交流の拠点としての機能も担っています。

あなたにもできる、こどもの居場所を支える6つのコト

1



ボランティアに参加する

居場所でのボランティア内容は多様です。資格や経験がなくても、できることはたくさんあります。

【ボランティアの一例】

こども食堂の運営（調理、食材・調理器具の運搬配膳や後片付け）／こどもたちと一緒にご飯を食べたり、雑談／保護者との雑談／こどもたちと一緒に遊ぶ／こどもの宿題のサポート／絵本の読み聞かせ／楽器の演奏／受付／写真や動画の記録／ミーティングの議事録作成 など

ボランティア参加申し込みフォーム

こちらのフォームへ活動の条件やご希望をご入力いただければ、最適な団体にマッチングします。



2



食品や物品をプレゼントする

さまざまな食品や物品を必要としている居場所があります。ぜひ寄贈をご検討ください。

※常温だけでなく、冷凍・冷蔵食品の受贈に対応可能なこども食堂もあります。

【寄付の一例】

お米／農産物／根菜類／肉類／調味料／飲料／防災備蓄食品／食器類／調理器具／遊び道具／文房具／ランドセル／制服／体操着／コンサートやスポーツ行事のチケット（体験の格差解消のため） など

食品寄贈を仲介するオンライン・フォーム

寄贈条件や希望、賞味期限などの必要情報をご入力ください。最適な団体にマッチングします。



3



居場所に寄付をする

活動資金が不足している居場所も少なくありません。あなたの温かいご寄付は、その想いとともにごこどもの居場所を支える大きな力になります。

銀行口座のない団体もありますので、口座がある以下の募金へのご寄付も検討ください。（クレジット・カード決済も可 ※下ホームページ参照）

一定の金額がまとまり次第、古河市内のこどもの居場所に助成を行います。



古河市こどもの居場所応援募金

株式会社 ゆうちょ銀行 〇ー九店（ゼロイチキョウ店） 当座 0046911（記号番号：00160-7-46911） 茨城NPOセンター・コモンズ（トクヒ）イバラキ・エヌビィーオーセンター コモンズ

または
株式会社 常陽銀行 本店営業部 普通 1978796 特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋（トクヒ）イバラキエヌビィーオーセンター コモンズ

※口座振込をいただいた場合、ご寄付されたこと（氏名・住所・連絡先など）を事務局に必ずお伝えください。寄付金の使途制約が不明の場合、他事業にも活用できるご寄付とさせていただきますことをご容赦ください。

4



場所を無償・安価で貸付する

居場所の活動場所を探しています

公民館などを借りて活動していたり、予約できず不定期になる居場所もあります。開催場所まで食材などを都度持ち運ぶ苦勞もある他、食料配布会を実施している団体は大量の食材を保管する場所の確保に苦勞しています。

【貸付の一例】

・空き家、勤務先の建物の空きスペース、倉庫、ご自宅の離れなどを、こどもの居場所に無償、もしくは安価で貸与する。
・一時的、または特定の時期に貸与する。

場合によっては固定資産税をまかなえる程度の使用料をお支払いできることもあります。場所を貸すというかたちでのこどもの居場所への応援をぜひご検討ください。

